

第4学年 組 道徳学習指導案

指導者

- 1 主題名 なかまを大切に 中学年2－(3) 信頼・友情
資料名 「みんなの黒板」 (ぬくもり)

2 主題設定の理由

- 本主題は、「友達と互いに理解し、信頼し、助け合う児童を育てる」ことを主なねらいとしている。豊かな人間関係を築くためには、互いを理解し、認め合い、助け合いながら信頼感や友情を育てることが大切である。しかし、昨今、子ども同士の間関係も大人社会の影響で希薄化してきており、常に仲間外れやいじめ、不登校といった課題を社会全体が抱えている。そこで本主題を通して、誰とでも仲よくし、助け合って生活していくことについて考えることは、友情を深め、自分自身だけでなく、お互いの成長を促していく上でも大変意義深いと考える。
- 本学級の児童は、学校生活を送る上で友だちは大切で、協力することの大切さを理解している。友だちに優しく声をかけたり、力を合わせて学習に取り組んだり、休み時間にはクラス全員で遊んだりする姿が見られる。しかし、それほど気の合わない友だちに対しては、遊びの輪の中に入れてあげなかったり、仲間集団以外の子に対して、不用意な言動で心を傷つけたりすることがある。そこで、このような時期に友達の気持ちを共感的に理解したり、自分の気持ちを表現したりすることを通して、友達との信頼・友情を育てることは、大変意義深いと考える。
- 本資料は、一回も発表しない人がたくさんいるという学級の実態から、「もっと友だちのことを知ろうよ係」の提案で、『みんなの黒板』に、クラスの友達が自分自身のこと、友達のこと、家庭のことなどを自由に書き、自己開示することでお互いのことを知っていくという資料である。本時指導にあたっては、友達がどんな気持ちで黒板に書いたのかを考えさせることで、ねらいとする価値に迫っていきたい。導入段階では、事前アンケートをもとに、係活動は友だちを思う気持ちをもとに行っていることをおさえて、めあてへとつなぐ。展開前段では、「みんなの黒板とは何か。」「何のためにやるのか。」について確認し、友達や学級が明るく元気になるように「みんなの黒板」を提案した「もっと友だちのことを知ろうよ係」の取り組みについて確認する。そこで、資料の 月 日の黒板に書かれた文の中から、めあてにつながる文を選び出し、その文を書いたじゅんぺいくんの気持ちについてふれた後、じゅんぺいくんのことをへんなあだ名でよんだ友だちの気持ちを考えさせて発表させる。また、翌日の 月 日の黒板に書かれた内容を提示して、勇気を出して友だちに伝えたい気持ちが伝わるうれしさに気付く、友だちを互いに理解し、信頼し、助け合うことの大切さに気付かせたい。

展開後段では、友達のことを思って行動できたことを振り返り、価値を内面的に自覚できるようにする。また、友達同士認め合い、助け合い、理解し合うことで友達との関わりが深くなり信頼関係が生まれ、互いに楽しく生活できることに気付かせていきたい。終末では、子ども達とのつながりも深い4年 組の○○先生が本時の資料『みんなの黒板』の著者であることを知らせ、どのような思いや願いからこの資料が生まれたのかについての話を聞き、今後の生活での価値に対する意識の継続を図りたい。

3 本時のねらい

友だちを思う気持ちを大切にし、お互いに理解し、協力して助け合っていこうとする心情を育てる。

- 4 本時 平成22年10月 日() 第 校時 第4学年 組教室に於いて

- 5 準備 資料「みんなの黒板」、アンケートの結果、挿絵、心のノートの拡大図、道徳ノート

6. 展開

段階	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導 入	<p>1 係活動に関するアンケートをもとに話し合い、本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>《めあて》 友だちを大切に思う気持ちについて考えよう。</p> </div>	<p>○ アンケートの結果から、友だちに関する項目に気付かせて、めあてをつかませる。</p>
展 開 前 段	<p>2 資料「みんなの黒板」を読んで話し合う。</p> <p>(1) 「みんなの黒板」とはどんなものか、何のためのものかを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発表する人が決まっていて、1回も発表しない人がたくさんいる。 ○ みんなにうったえたい事などを書く。 ○ お互いの気持ちが分かる。 ○ すてきなクラスになる。 <p>(2) 資料の 月 日の黒板に書かれた文の中から本時で話し合う内容の文を選ぶ。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>たのむから、ぼくのことをへんなあだ名でよぶのはやめて！ (じゅんぺい)</p> </div> <p>(3) じゅんぺいくんが書いた黒板を見て、へんなあだ名でよんでいた子の気持ちについて、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>じゅんぺいくんをへんなあだ名でよんでいた人は、この黒板を見てどんなことを考えたでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ ごめんなさい。いやだって分からなかった。 ○ じゅんぺいくんの気持ちが分かったよ。もう言わないって約束する。 <p>(4) 月 日の黒板を提示し、じゅんぺいくんに対してたつやくんが書いた返事を知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>じゅんぺいくん、ごめん。わかった。 もうぜったいにいわない。(たつや)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「みんなの黒板」は「もっと友だちのことを知ろうよ係」が、クラスの課題を解決するために考えた活動であることを知り、友だちのことを理解することで、みんなが仲良くなることをとらえさせる。 ○ 「みんなの黒板」の全文を掲示した後、その中から友だちに関して抽出した文を、黒板に提示して考えさせる。 ○ じゅんぺい君の気持ちに共感させるために、あだ名を言われた時のじゅんぺいくんの表情をつくらせる。 ○ クラスのみんなに自分の気持ちを分かってほしいと考え、言いたくても言えない自分の気持ちを、みんなが帰った後にこっそり黒板に書いたじゅんぺいくんの気持ちについてふれる。 <ul style="list-style-type: none"> ○ あだ名をよんでいた人の気持ちを考え、表情をつくらせた後に、道徳ノートに書かせる。 ○ じゅんぺいくんがクラスの友達を信じて黒板に書いたことが、たつやくんに伝わったという2人の関係をつかませる。 ○ もうぜったいにいわないと言った時のたつやの表情をつくらせる。
展 開 後 段	<p>3 自分の生活を振り返り、友だちの気持ちを大切に考えて行動した経験を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 友だちが困っているときに声をかけてあげた。 ○ 算数で分からないところを教えてあげた。 ○ 落ちこんでいるとき、はげましてあげた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心のノート（P 4 2）の拡大図を提示し、具体的な生活経験を想起させる。 ○ 友だちの思いが分かってうれしかったことや、自分が友だちにしてあげた喜びについて振り返るよう助言する。
終 末	<p>4 資料「みんなの黒板」を著した教師の話聞く。</p>	<p>○ この作品に込めた教師の思いや願いを聞き、今後の生活への意識の継続を図る。</p>

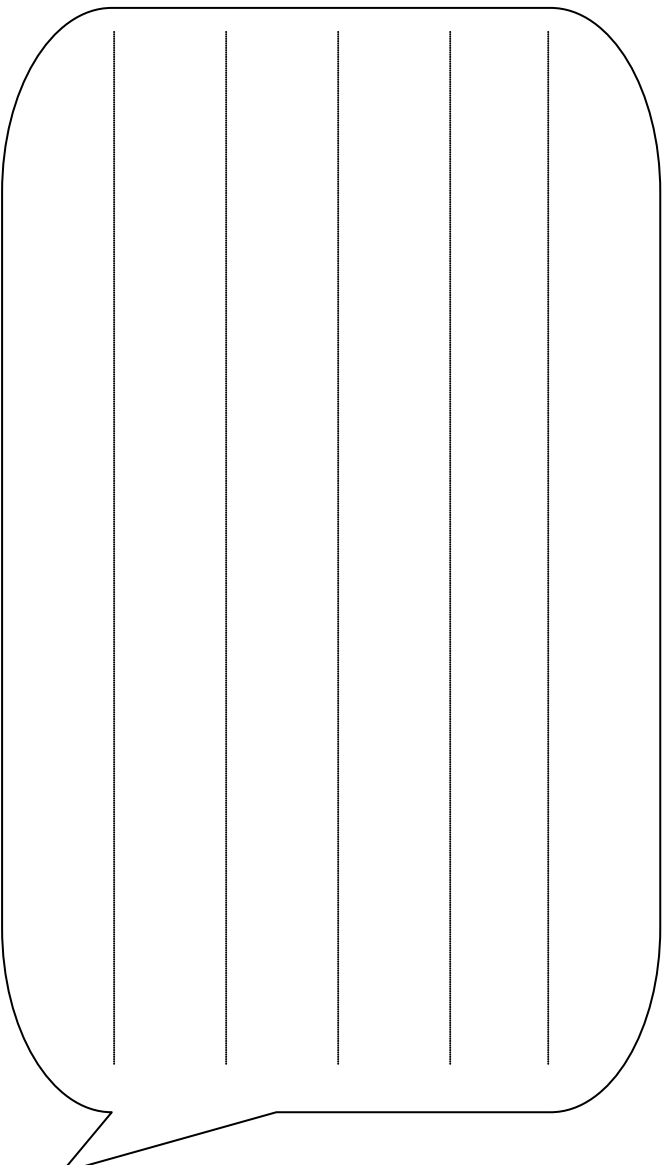
めあて

友達を大切に思う気持ちについて考えよう。

「みんなの黒板」

じゅんぺいくんをへんなあだ名でよんでいた人は、

この黒板を見て、どんなことを考えたでしょう。



自分の生活を振り返って、

友だちのことを大切に思っていることを書きましょう。
